



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 株式会社 ミツウロコグループホールディングス
コード番号 8131 URL <http://www.mitsuuroko.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 晃平

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員財務経理部長 (氏名) 児島 和洋

TEL 03-3258-6310

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	147,789	10.6	1,212	822.9	1,574	531.6	912	—
24年3月期第3四半期	133,582	16.6	131	△92.6	249	△85.8	△90	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,200百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △388百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.02	—
24年3月期第3四半期	△1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	119,743	63,024	52.6	967.47
24年3月期	119,700	62,801	52.4	963.97

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 62,932百万円 24年3月期 62,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△1.3	3,400	5.8	3,500	△1.1	1,700	△28.0	26.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	68,137,308 株	24年3月期	68,137,308 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,087,916 株	24年3月期	3,087,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	65,049,502 株	24年3月期3Q	65,241,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ 1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、新政権の経済対策による景気回復への期待が高まっているものの、輸出や設備投資の動きは依然として弱く、企業における景況判断も慎重な見方が多数を占めている中、世界景気の減速等を背景に輸出も弱含みとなっていることから、欧州等をはじめとした海外経済の不確実性が国内景気の下振れリスクとなっているなど、不透明な状況が続きました。

当社グループ主力のエネルギー事業の周辺環境では、原油価格ならびにLPガス仕入価格の指標となるCP(Contract Price = 輸入通告価格)が長期にわたり高い水準で推移していることに加え、当第3四半期連結累計期間後半からの円安傾向により仕入価格が上昇に向かうなど、価格変動への対応が難しい状況で推移いたしましたが、一方では気温低下に伴い灯油の需要が大幅に拡大し、LPガスの単位消費量も増加を見込むなど、いくつかのプラス要因を抱えながら最需要期である冬期に突入いたしました。

こうした状況下、LPガス価格適正化の取り組みを強化し、高水準で推移する輸入価格と円安傾向に基づく仕入価格上昇への対応に注力し、同商品の収益力向上をはかりました。

また、通期にわたり重点的に取り組む太陽光発電システムや家庭用燃料電池等の新エネルギー関連機器の販売は好調を維持しており、特に家庭用燃料電池エネファームはLPガス仕様では22%超のシェアを確保しています。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比10.6%増の1,477億89百万円、飲料事業の拡大とLPガス事業の営業費用圧縮等により、営業利益は前年同四半期比822.9%増の12億12百万円、経常利益は前年同四半期比531.6%増の15億74百万円、四半期純損益は前年同四半期より10億2百万円改善し、9億12百万円の四半期純利益となりました(前年同四半期は四半期純損失90百万円)。

各セグメントの状況は以下のとおりです。

なお、セグメントの名称については、第1四半期連結会計期間より語尾に「事業」をつけることといたしました。(エネルギー事業)

灯油を中心に石油製品の販売量は伸長し、LPガス価格の適正化への取り組みにより収益力回復に努め、引き続き新エネルギー関連機器の拡販に重点的に取り組んだ結果、売上高は前年同四半期比9.4%増の1,387億20百万円、営業利益は前年同四半期比81.5%増の17億3百万円となりました。

(不動産賃貸事業)

空室率改善により売上高は前年同四半期比3.6%増の8億23百万円、営業利益は前年同四半期比2.7%増の3億46百万円となりました。

(健康・スポーツ事業)

横浜駅西口の複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」内の「SPA EAS(スパイアス)」の来場数が増加傾向を維持していることから、売上高は前年同四半期比2.2%増の11億14百万円、同施設内のボウリング場「ハマボール」再開に伴う費用が発生したことにより、営業損失は前年同四半期比48百万円悪化し、2億64百万円(前年同四半期は営業損失2億16百万円)となりました。

なお、当セグメントは「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」運営によるものですが、当該施設内のテナント群の業態等を含め施設全体のコンセプトを正確に表すため、セグメント名称を従来の「アミューズメント」に替え、第1四半期連結会計期間より「健康・スポーツ事業」と変更いたしました。

(電力事業)

新電力事業(PPS=特定規模電気事業者)としての電気販売量増加等により、売上高は前年同四半期比51.7%増の45億85百万円、営業利益は前年同四半期比1,249.1%増の1億89百万円となりました。

(その他事業)

飲料製品の販売量増加やリース事業における取扱量増加等により、売上高は前年同四半期比35.3%増の25億45百万円、営業損益は飲料製品の販売量拡大と飲料製品製造工場の稼働率を上げるなどの原価圧縮策により前年同四半期比2億2百万円改善し、65百万円の営業損失(前年同四半期は営業損失2億67百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少28億1百万円、受取手形及び売掛金の増加6億35百万円、商品及び製品の増加5億26百万円、投資有価証券の増加8億47百万円等により、前連結会計年度末と比較して42百万円増加の1,197億43百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金の増加14億42百万円、未払法人税等の減少9億63百万円、長期借入金及び短期借入金の減少9億58百万円等により、前連結会計年度末と比較して1億80百万円減少の567億18百万円となりました。

(純資産)

純資産は、配当金の支払い9億77百万円及び四半期純利益9億12百万円等による利益剰余金の減少65百万円、株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加3億9百万円等により、前連結会計年度末と比較して2億23百万円増加の630億24百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.2ポイント増加して52.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、原油価格及びLPGガスの仕入価格の動向並びに市場の動向によっては厳しい状況も想定されますが、平成24年5月8日の決算発表時に公表した数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,026	32,224
受取手形及び売掛金	19,134	19,770
商品及び製品	3,391	3,917
原材料及び貯蔵品	243	467
繰延税金資産	557	535
その他	3,245	4,291
貸倒引当金	△174	△149
流動資産合計	61,423	61,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,623	12,487
機械装置及び運搬具(純額)	8,217	7,743
土地	12,900	12,772
建設仮勘定	20	199
その他(純額)	758	928
有形固定資産合計	34,521	34,130
無形固定資産		
のれん	1,669	1,538
その他	1,418	1,696
無形固定資産合計	3,087	3,234
投資その他の資産		
投資有価証券	11,180	12,027
繰延税金資産	822	804
その他	8,835	8,651
貸倒引当金	△184	△164
投資その他の資産合計	20,654	21,319
固定資産合計	58,263	58,684
繰延資産	13	2
資産合計	119,700	119,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,709	18,151
短期借入金	11,759	8,678
未払法人税等	1,303	339
引当金	798	370
その他	2,574	2,870
流動負債合計	33,144	30,412
固定負債		
長期借入金	14,126	16,249
繰延税金負債	2,257	2,373
退職給付引当金	1,273	1,345
その他の引当金	428	451
資産除去債務	691	689
その他	4,976	5,197
固定負債合計	23,754	26,305
負債合計	56,899	56,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	49,955	49,890
自己株式	△1,704	△1,704
株主資本合計	61,173	61,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	2,180
繰延ヘッジ損益	△337	△355
その他の包括利益累計額合計	1,532	1,825
少数株主持分	95	91
純資産合計	62,801	63,024
負債純資産合計	119,700	119,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	133,582	147,789
売上原価	114,898	128,506
売上総利益	18,683	19,283
販売費及び一般管理費	18,552	18,071
営業利益	131	1,212
営業外収益		
受取利息	55	54
受取配当金	159	169
デリバティブ利益	21	204
その他	426	386
営業外収益合計	663	815
営業外費用		
支払利息	398	366
その他	146	87
営業外費用合計	545	453
経常利益	249	1,574
特別利益		
固定資産売却益	83	566
その他	6	—
特別利益合計	89	566
特別損失		
固定資産除却損	92	261
固定資産売却損	0	1
投資有価証券売却損	14	—
投資有価証券評価損	146	—
土壌汚染処理対策費	—	68
電力受給契約改定損	—	146
その他	0	—
特別損失合計	254	476
税金等調整前四半期純利益	83	1,663
法人税、住民税及び事業税	312	751
法人税等調整額	△137	4
法人税等合計	175	755
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91	908
少数株主損失(△)	△1	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△90	912

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△91	908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	307
繰延ヘッジ損益	△59	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	2
その他の包括利益合計	△296	292
四半期包括利益	△388	1,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△387	1,204
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	エネルギ ー事業	不動産 賃貸事 業	健康・ スポーツ 事業	電力事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	126,792	795	1,091	3,022	131,701	1,880	133,582	—	133,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	17	—	69	139	32	171	△171	—
計	126,844	812	1,091	3,092	131,840	1,913	133,753	△171	133,582
セグメント利益又は 損失(△)	938	337	△216	14	1,073	△267	806	△675	131

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△675百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告には配分していない全社費用△674百万円及びその他調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	エネルギ ー事業	不動産 賃貸事 業	健康・ スポーツ 事業	電力事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	138,720	823	1,114	4,585	145,244	2,545	147,789	—	147,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	28	0	95	173	43	216	△216	—
計	138,769	852	1,115	4,680	145,417	2,588	148,006	△216	147,789
セグメント利益又は 損失(△)	1,703	346	△264	189	1,974	△65	1,909	△696	1,212

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、飲料製品の製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△696百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告には配分していない全社費用△703百万円及びその他調整額8百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

セグメントの名称については、第1四半期連結会計期間より語尾に「事業」をつけることといたしました。

また、従来の「アミューズメント」セグメントについては「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」運営によるものですが、当該施設内のテナント群の業態等を含め施設全体のコンセプトを正確に表すため、名称を従来の「アミューズメント」に替え、第1四半期連結会計期間より「健康・スポーツ事業」と変更いたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。